

【中学校の部】最優秀賞（大分県教育の日推進会議会長賞）

私の好きな場所

中津市立城北中学校 3年
池口 春花



「中津の好きなところは？」と訊かれたら真っ先に「自然が豊かなところ！」と答えるだろう。私は毎日、龍王橋をわたりながら登下校をしている。龍王橋からは、八面山・中津城・中津川が見える。私はこの景色がとても好きだ。私は密かにこの景色を、中津の「三大絶景」と呼んでいる。

晴れた日は、八面山の山肌がとても綺麗に見え、中津城がより一層際立つ。そして中津川が日を浴びてきらきらと輝いている。この景色を見ることができると「今日1日、良い日になるぞ！」と幸せな気分になる。

以前、神奈川に住んでいる祖母にこのことを電話で話したら「それは素敵なことね、自然や歴史に触れながら通学できるということは、他の場所では滅多にできないことよ」と言われた。私にとっては、当たり前にあるものだ、と思っていたものが他の人からみると当たり前ではない、凄いものなんだと改めて気づかされた。それ以来、龍王橋をわたる度に嬉しいような、誇らしいような気分になった私は、中津の自然や歴史に囲まれながら今日も1日のスタートを切る。

私は落ち込んだとき、よく龍王橋を途中で下り中津川の土手沿いを歩きながら独り考える。人との関わりで悩んだ時、生徒会の仕事が忙しくて心に余裕が持てない時、私は少し遠回りをしてここへやってくる。このことはまだ誰も知らない。私だけが知っている秘密の場所だ。土手沿いを歩きながら、ゆっくり夕日が沈むのをじっと見つめる。朝とは違い中津川が夕日に照らされ赤く輝きを放つ。眩しくて、目が熱くなり鼻の奥がツーンと痛む。この無数の輝きを見つめていると、今日あった嫌なできごとや苦しみは、自分の人生の中のほんの一部に過ぎないかもしれないと思う。そう考えると、さっきまで悩んでいたことが中津川の輝きとともに消えていく。そして明日もまた頑張れる気がする。

最後に、私の通っている学校であり、私のホームである「中津市立城北中学校」について述べたいと思う。前にも少し述べたが、私は城北中で生徒会長をしている。これは私だけかもしれないが、生徒会長をしているとやはり学校のことを気にかけてしまう。学校から帰ってからも、学校とは関係ないことをしていても、休日ですら学校のことが気になって仕方がない。そのくらい、私の頭の中は半分以上が学校のことだ。そんな城北中を一言で表すとしたら「パワフル」だろう。とても元気が良い。良すぎて困るくらいだ。だが一人一人は、とても優しく温かいひとたちだ。仲良くなるにつれて良いところが沢山みつかる。また、学年に関係なく「会長！」と気さくに声をかけてくれるひとたちばかりだ。私は城北中の会長になってよかったな、とその都度思う。城北中の先生方も好きだ。先生方は、とても愛があつて優しく面白い。そして褒め上手な方ばかりだ。私が生徒会長の言葉を言ったり、生徒会の仕事をしていたりすると、毎回沢山の先生から褒めていただいたり、応援していただいたりしている。褒めて伸びる私は、この環境がとてもありがたく、いつも力をもらっている。皆さんいつもありがとう。

今回、中津を題材にしたエッセーを書いてみて凄く楽しかった。やはり大好きな場所には10年後20年後もそのままあり続けてほしいし、ずっと思い出の場所として残っておいてほしい。私は一度、大好きだった幼稚園がなくなってしまった経験があるからこそ、その思いが強いのもかもしれない。未来の城北中生が私たちと同じように自然や歴史、そして大切な人たちに囲まれながら、自分の個性の花を大事に、そしてのびのびと育てていけますように。